広報 南国

編集発行 南国市役所
電話(代表)451番
印刷所 安岡印刷所

広報は…………みんな読むもの…………つくるもの

市章一月議会で決定

一昨年末に募集した南国市の市章は、市内はもちろん全国各地の有志二百十五名からよせられ、その応募作品総数は五百八十七点に達した。

市では、市章制定審査員十名を（学識経験者、市執行部、議会）委嘱し、一次、二次、最終審査と慎重審議の結果二点を選らび、その一点を入選作、一点を佳作とした。

入選作は、南国市の頭文字「ナ」を図案化したもので発展飛躍、団結と平和を示したものである。

入選作は、審査員岡村次（香長中）関繁（三和小）の両氏に依頼一部を修正したもので、一月に開らかれる市議会に提案され、市章として採用制定される模様である。

なお入選作は、岐阜県恵那郡明智町、丹羽幸三氏の作品で、佳作は、熊本市の平松蓉子さんの手になるもの。

家屋の一斉調査

一月から実施

家屋評価のために行われる家屋の実地調査は、昨年末から予定し、市では十月に評価補助員を別表の通り委嘱し、実地研修を行い評価と調査方法を研究を進め、いよいよ一月より市内の全家屋を対象に定められた資料に基いて、それぞれ担当の固定資産評価補助員が家屋評価のため戸毎に実地調査をすることになつた。

この調査は相当手数がかゝり居住者はもちろん所有者の方で迷惑を掛けることになるため市では適正な評価ができるよう市民の理解と協力をもとめている。

担当地区及び補助員氏名

久礼田、瓶岩〔久礼田、※瓶岩〕北村耕三、門田利治、浜田一、原広信、坂本武夫、上倉〔上倉〕岩原武雄、川村正意、吉川茂隆、国府〔国府〕岩川清良、永田正嗣、岡豊〔岡豊〕浜田将、池内一清、長岡〔長岡東部〕岩貞亀寿、大塚万亀、長岡〔長岡西部〕中村啓次郎、山岡龍夫、岩、野田、後免〔岩、野田、後免〕藤村嘉一、入交清繁、大篠〔大篠〕橋田信喜、松木亀治、三和〔三和〕岡田秀作、松木菊治、十市〔十市〕西村繁楨、山本寿春、稲生〔稲生〕直元勢進、野木猛雄、前田義幾、中沢正一、前浜〔前浜〕前田常寄、近藤武重、〔日章〕岡田茂、三宮正、吉井透、

春の山波

新入の児童生徒の通学区域を守ろう

通学区域を守ることについてはたびたび協力をねがつているが、一部父兄のなかには新入学できいしやゝもすると、通学区域外の学校に入学を希望し、児童、生徒の住所を他家に同居、または下宿など、その他の偽装転居の方法を用いて他に移つし、通学区域外の学校へ入学させようとする向きが毎年相当数になつている。

これは、通学区制を破壊し、他に悪影響をおよぼすことが非常に大きく教育行政に支障をきたす原因ともなつている。

市教育委員会では、これらの方法で行われる通学区域外への入学については厳重にし原則として許可しない方針でゆくことになつた。

小、中学校ともに入学すべき学校は、学校教育法などにより規定され、指示することになつている。

もちろんこれが通学区制により示されてもいるが、入学通知書に指示することになつている。

本年度小、中学に入学すべき児童生徒の取扱いはこれらの事情を承知されて通学区域を厳守されるよう父兄の協力がのぞまれている。

養鶏講習会開らかれる

一月二十二、二十三日 大篠公民館

曲り角にきた農業に曲る一ノの道として、最近とみに養鶏熱が盛んになつてきている。いわゆる「ハンパの鶏飼い」といわれ、養鶏はなかなかむつかしく、飼育技術を要するもので失敗もしばしばみうけられる。

それで南国市愛農会では、大篠、日章、三和、岩、各農協の協力で市内の愛鶏家の要望に応え、全国的な養鶏の講師、岡山県の二枝秀夫氏を招いて次の通り養鶏に関する講習会を開らく。多数聴講者の参加が望まれている。

日時、1月22、23日 午前9－午後4時
場所、大篠公民館
聴講料、五十円
申込締切、1月20日
申込先、大篠農協 山本寿夫まで

未納の税金ははやく

市税の納入についてはいつもながら協力をねがつている。もちろん税は、市の行政上絶体かくことのできないもので、これを完納されるか否かは、市の前途に明暗いづれかをえがくことになる。

昭和三十五年度分の県、市民税、固定資産税、軽自動車税などの納期限は全部昨年末までであり、納期限が切れた未納の税金を、長くおくほど税額以外に加算される金額が多くなるので、まだ残こされている税金を明日といわず今日すぐ、完納されることがとくであり、またのぞまれている。

⊙完納で築こう 明るい南国市

待望の電灯つく

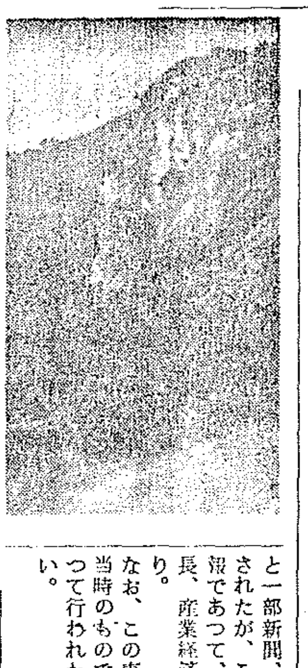
瓶岩地区橋部落に

市内でただ一つの無電灯地区として同情されていた瓶岩地区橋(ユス)部落に昨年末ようやく電灯がつき、部落はよろこびにわいている。

同部落は戸数十四（七十六人）、実現までには部落民と市当局のひとかたならぬ苦労があつた。

なお同部落は市役所から約十五キロの山奥である。

下の写真は無電灯地区の悲哀をかこつたユス部落の入口



希望満つ六百六十名

―ことしの成人―

一月十五日は成人の日です。

市では本年も成年に達した六六〇人（男三三一女三二九）に対し、十五日午前十時より後免野田小学校講堂で成人式を行い、成年者の自覚を新たにすると共に輝かしい前途を祝福し、尚記念講演、映画会等を催し、意義ある一日を送ることとなつている。

成年者全員はもとより市民の多数列席を望んでいる。

派米農業実習生を募集

日本農業の曲り角を打開するため、農林省では、毎年各都道府県より推薦された農村の中堅青壮年を、米国カリホルニヤ州の農場に派遣し、外国農業を実習させ日米農業の振興に役立たせるとともに、日米親善に資している。

今度第十回目の派米農業実習生を次の通り募集している。

希望者は県開拓課または農業改良課に申出るとよい。

募集人員、約五十名
応募締切、昭和三十六年二月十日
選考、昭和三十六年二月十五、十六、十七日
渡米時期、四月上旬
実習期間、一ケ年 うち農業実習十一ケ月 研修及び旅行約一ケ月
応募資格、新らしい自立経営、協同経営の中心となろうとする人 心身健全でアメリカ農業にたえ得る人

防犯協会生る

天行寺

市内の瓶岩地区の天行寺周辺は、禁猟区であるにもかゝわらず最近密猟者や、蜜柑、柿、ワラビ、筍など作物荒らし、はたまた桜の皮をはぎとるものなど、悪質な犯罪が発生し、平和な山里を荒らされるのにどうをにやした部落民が、こぞつてこれらの犯罪や、青少年子弟の不良化防止などたがいに協力し、犯罪のない明るく、住みよい、部落全員が、協力しあうことにし、このほど、防犯協会が発足したもの、

役員は、次の通り
会長、岡崎俊一
副会長、岡崎邦昭
同　岡崎清隆

立田にも防犯自治会

立田地区にも、上陸内、本村、立田、永田の四支部を有する立田地区防犯自治会（会長野村清）が昨年十二月に発足し、全部落民がこぞつて犯罪をなくするよう協力してゆくことになつた。

国有林の払い下げ内定

市では財政強化のため、発足以来林野庁に対し、強力に運動をつゞけてきた中ノ川国有林の一部払い下げについては、このほど高知営林局と話し合いがつき、払い下げに関する書類を提出したもの。

同局では、本庁と打ち合せのうえ年内に払い下げを決定するはず。

対象になつている山はスギの造林地で四十四年生二十ヘクタール、三十一年生三十五ヘクタール、六年生四十五ヘクタールで面積百ヘクタールとなつている。

なお山林は時価七千万円といわれているが払い下げ価格は未定。

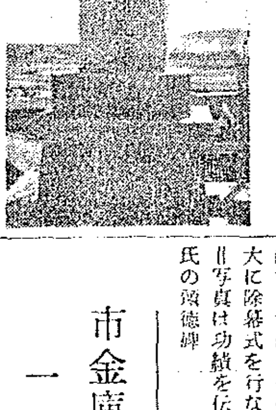
福川氏の頌徳碑

平和の鐘の功労者

昨年夏―市民のこころに平和の願いを高めさすとともに、戦没者の霊を慰める狙いから、野中地区年越山の西福寺に設けられた〝平和の鐘〟はいま人々のこころのよるべともなつているが完成までには、地区選出市議、福川藤茂氏の努力があつた。

同氏は建設委員長として完成までの約半年間、建設資金造成のため人知れぬ苦労を続け、このため寄付金約百六十万円を得て鐘と納骨堂を兼た鐘突き堂の竣工をみ関係者は同氏の功績を長く伝えるため頌徳碑の建設を計劃。

昨年末、ゆかりの地西福寺境内に、高さ二メートルを越すりつぱな碑を立て、盛大に除幕式を行なつたもの。



〃写真は功績を伝える福川氏の頌徳碑

建設・産経課長の逮捕は誤報

このほど南国市の現建設課長と産業経済課長逮捕さると一部新聞、ラジオで報道されたが、これは職名の誤報であつて、建設課庶務係長、産業経済課員の誤まり。

なお、この事件は旧後免町当時のもので、南国市となつて行われたものではない。

余生をたのしむ人々

北三島の長命会

余生をたのしみながら、家庭や部落の明朗化につとめている老人の集まりがある。

ことのおこりは昭和三十一年の九月で、北三島に生れたものであるが、次第に会員が増え、現在四十七名を数えている、月一回の定例会を開らき、月二十円の会費を徴収し、娯楽や演芸などで一日をたのしくすごしている。

その名を長命会（会長小笠原勝次）といゝ、年令や性別、区域を限られないのがこの会の特色でもある

市金庫の事務開始

一月十一日から

市民待望の市金庫事務は、一月十一日から開始される。

金庫事務の開始にともない納税など市に納入すべきものは、各地区の単位農協と農協支所においても取扱いをすることになつた。

これがため市役所の支所、出張所では納税の事務については取扱いをしないことになつている。

水道をこおらさぬよう

寒くなつて水道の水が出にくくなる場合が多くなつているが、市役所水道係は次のように、大事にあつかつてほしいといつている。

給水パイプが露出しているところはボロ布やワラを巻き、凍らないように工夫してほしい。凍つて水が出ないときは、むりにセンをあけず湯をかけてから使う。

こどもの頃の新年というものは、なぜかしら待ち遠しいほどたのしいものだ。一歩老いに近づいたこの頃になると、変におつこうになり何の感じもうかんでこない、……とはいつても今年こそはの生きがいはもつている。いさゝか消極的にはなるけれど、……「一年の計は元旦にあり」とはよくいわれるが、初一念をつらぬきとおすことがむつかしい、なにかしらのシリスボミ式になるのが大部分の落ちだ、しかし生きがいだけはもつてゆきたい。▼新年早々明暗をえがいたことがらも新聞紙上によくのせられている、人生の歩みというものは終着駅につかなければその人その人の幸福は訳からないものか、現実の幸せをしつかり味い将来へ進んでゆくことこそ人生のよろこびではないだろうか。▼山を愛する故に山に散つてゆく若い人々が数多くあるのは、なんとしてもいたましい。頂上にあつてしみじみ味あう山の征服感は、実にたのしいものであろう▼ましてそれまでの苦闘があつてこそそのよろこびが増してくるもの、夏は夏で冬は冬で山そのものは相変らずきびしいものだ。ピクニックにゆくような考えで山ととりくむものが多くはなかろうか。▼海抜千米ぐらいならまだしも二千米などとなればそれだけの心構えと準備が大切であろう。人生もそうだ長く生きぬくためにはそれ相当周到な心構えが大切ではなかろうか。……